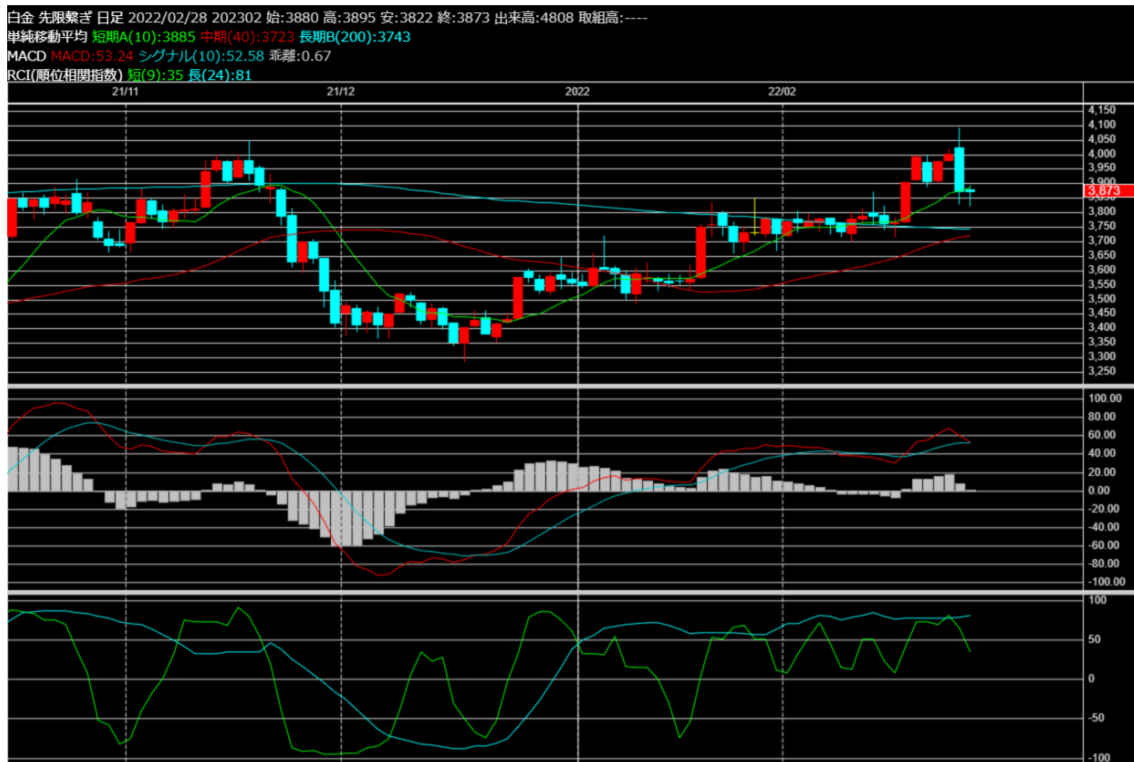


＜白金標準先物、SWIFT のアクセス遮断は 2021 年 2 月の再来・・・＞



(出所：オアシス)

ロシア軍がウクライナに侵攻を開始したが、バイデン大統領は欧州の反対もあり国際銀行間通信協会（SWIFT）の国際決済ネットワークからロシアの銀行を排除するまで至っていなかった。しかしロシア外相報道官がスウェーデンやフィンランドに対して NATO 入りを行なった場合は有害な結果が生じると警告を発した事を受け、第 2 次大戦以降他国に武器を輸出した事がないドイツがウクライナに対して武器の供与を発表し、また SWIFT のアクセス遮断でも賛成した事からバイデン大統領は対ロシア経済制裁で数日中に国際銀行間通信協会（SWIFT）の国際決済ネットワークからロシアの銀行を排除する発表している。

特にロシアの輸出の 56%はドル決済であり、ロシア産の鉱物や資源の輸出における外貨獲得の手段が閉ざされる状況へ追い込む処置である。また 2018 年 4 月にロシア制裁でアルミニウムのルサルが制裁を受け、LME の価格が 30%近く反発した。

白金では 2020 年 10 月にロシアのノリリスクニッケル鉱山での水没事故では生産が止まった事から 2021 年 2 月には 4523 円まで上昇しており、今回の処置でロシアの白金供給量の 20 トンが影響された場合は、2021 年 2 月の高値 4523 円に向けた上昇が予想される。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下がりながら、**シグナル**は上昇が止まり、RCI でも**短期**が下げており、目先の基調は弱気に傾きを見せている。ただ RCI の**長期**が+81%の高値を維持しており、依然と強気相場の継続を示している。また日足も 3822 円、3828 円で下げ渋るなど、依然と買い有利と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 392,500 円(2022 年 2 月 28 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 34,540 円(2022 年 2 月 28 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>